

校養高深美

3年の学びの集大成 3年生が名寄で最後の販売会

【名寄】美深高等養護学校(大泉直哉校長)が19日、西條名寄店で3年生の製品販売会を開催された。



最後の販売会で接客する3年生

この販売会は同校の3年生の卒業前最後の実習として毎年行われており、生徒たちが事前の製品制作から当日の接客対応まで、同校で3年間学んできた知識や経験を生かして熱心に取り組む。一方、地元の名寄や美深などの近隣住民からの評判も良く、毎年多くの人が会場に足を運び、商品を買求める。

今回の販売会は木工科、工業科、被服デザイン科、農業科、食品デザイン科の全5学科が一緒に実施。午前10時の開始直後から多くの人が訪れ長い列を作った。特に農業科の目玉商品の越冬キャベツについては、開店後約

15分で午前中の販売予定分が完売する人気となった。

食品デザイン科3年の津田奏音君はこの日のために、今週月曜からクッキーやパウンドケーキといった焼き菓子を作って準備し、当日を迎えた。生徒はこれまで経験してきた販売実習と比べても一番忙しい。けれど多くのお客様に買ってもらえて作ったかいがある」

と話した。また、卒業後についても触れ「卒業して就職したあとも、販売実習会で学んだあいさつや返事、接客技術を仕事に生かしていきたい」と抱負を述べていた。

(安積祥紀)